

平成 3 0 年

議会運営委員会記録

平成 3 0 年 4 月 1 3 日

和 光 市 議 会

議 会 運 営 委 員 会 記 録

◇開会日時 平成30年4月13日（金曜日）
午後 1時30分 開会 午後 3時20分 閉会

◇開催場所 第2委員会室

◇出席委員

委 員 長	吉 田 けさみ	議 員	副 委 員 長	猪 原 陽 輔	議 員
委 員	吉 田 武 司	議 員	委 員	富 澤 啓 二	議 員
委 員	金 井 伸 夫	議 員	議 長	齊 藤 秀 雄	議 員
副 議 長	村 田 富 士 子	議 員	委 員 外 議 員	菅 原 満	議 員
委 員 外 議 員	小 嶋 智 子	議 員	委 員 外 議 員	赤 松 祐 造	議 員

◇欠席委員 なし

◇出席説明員 なし

◇事務局職員

議会事務局長	本 間 修	議会事務局次長	伊 藤 英 雄
議事課長補佐	細 野 千 恵	主 任	秋 元 佑 介
主 任	橋 本 千 種		

◇本日の会議に付した案件

特定事件7 議会だよりの編集、作成について
特定事件8 その他議会運営に関することについて
和光市議会基本条例に基づく見直しについて
議会報告会について

午後 1時30分 開会

○吉田けさみ委員長 ただいまから議会運営委員会を開会します。

出席委員数が定足数に達していますので、会議は成立しています。

会議には、議長とオブザーバーとして副議長と3名の委員外議員に出席を求めていますことを報告いたします。

本日の議題は、特定事件7、議会だよりの編集、作成について、特定事件8、その他議会運営に関することについてとして、基本条例に基づく見直しと議会報告会についてです。

初めに、特定事件7、議会だよりの編集、作成についての議題から行います。

お手元に、わこう市議会だよりNo.100の原稿が配られています。2回の編集事前打ち合わせを経ました掲載内容について、事務局から全ページ一括して説明をお願いいたします。

なお、写真の掲載について、前回、村田議員から、募金活動について、東日本大震災の写真がいいのではないかという提案があったんですけども、保存されています写真を見ましたら、2人ぐらいつ立って写っている写真のみで、議会全体として写っている写真が残念ながらありませんでしたので、この写真で掲載していただきました。

それでは、議会事務局のほうで通して説明をお願いいたします。

細野議事課長補佐。

○細野議事課長補佐 それでは、表紙から裏表紙を一括して御説明いたします。

今回は、わこう市議会だより100号で5月1日発行となります。内容は3月定例会のあらましとなります。

表紙における掲載内容を申し上げます。

上から、「わこう市議会だより」のタイトルの右に「今号は3月定例会のあらましをお知らせします」として、会期と議案等の件数について説明を掲載しています。

下に移りまして、100号記念タイトルとして「創刊100号記念特集 より読まれ、より伝わる市議会だよりへ」とし、その下に和光市議会歩みの写真を掲載いたしました。

下に移りまして、左側に見出しを「100号記念に寄せて」として、議長の御挨拶を掲載しています。

その右側には、見出しを「和光市議会の歩み」としまして、市制施行からこれまでの議会の移り変わりを年表形式で掲載しております。内容といたしましては、議会での取り組みのほか、議員定数の変化を盛り込んでおります。

さらにその下には、見出しを「議会の仕組み」といたしまして、定例会の審議の流れを図で掲載いたしました。

この紙面において、修正させていただきたいところを申し上げます。

まず、「和光市議会の歩み」の写真の部分になりますが、「和光市議会の歩み」の表と対応する写真につきましては、写真に記載する数字のフォントを大きくしたいと考えております。

また、その下、「和光市議会の歩み」の表になりますけれども、表の左側2行目、「定数を」の「を」を挿入しまして、「26人」の後に「でスタート」を加えます。10行目、「定数を」の「を」を挿入し、24人の後に「に変更」と加えます。12行目、「定数を」の「を」を挿入し、22人の後に「に変更」を加えます。表の右側に移りまして、3行目、「定数を」の「を」を挿入し、18人の後に「に変更」を加えます。13行目、「市政」の「政」の字を制度の「制」の字に訂正いたします。

下に移りまして、「議会の仕組み」の部分につきましては、定例会の審議順序の図の中で文字のフォントを大きくいたします。該当する箇所を申し上げます。

まず、上の「通知」、すぐ下の「送付」、右側の縦書きで「意見書を内閣や官公署などに送付する」、下の横書きで「※1、議案を委員会に付託しない場合は、提案理由の説明後、質疑、討論、採決を行います。」、次の行の「※2、一般質問は委員会の審査が終わった後の本会議において行っています。」

以上の部分につきまして、フォントを大きくしたいと考えております。

表紙につきましては以上となります。

次に、見開きページを御説明いたします。

8ページ左側は、タイトルを「3月定例会の主な議案」といたしまして、上から順番に、当初予算、国民健康保険税条例の一部を改正する条例を定めることについて、手数料の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例を定めることについて、介護保険条例の一部を改正する条例を定めることについて、都市公園条例の一部を改正する条例を定めることについての5つの議案について、それぞれ原案可決の説明文を掲載いたしました。

その右側になりますが、施政方針に対する各会派の代表質問を、そして、その下に、人事案件1件、陳情1件、意見書1件を掲載しております。

次の9ページに移りまして、「市政に対する一般質問」といたしまして、各議員のお写真とお名前、会派名を掲載いたしました。なお、一般質問のレイアウトにつきましては、当初、日付ごとに左から右へ並ぶレイアウトを考えておりましたが、日付を記載する枠を入れるのに思いのほかスペースがとられるということになりましたので、上から下へと並べるレイアウトに変更したいと考えております。

一般質問の下の部分には「常任委員会の審査」を掲載しております。

この紙面において、訂正、修正させていただきたいところを申し上げます。

まず、「3月定例会の主な議案」の記事になりますが、当初予算の記事について、1行目、まず見出しのデザインをその他の議案と統一いたします。その上で、平成29年度各会計予算となっている平成29年度の部分を平成30年度に訂正いたします。また、表の1行目、増減額の11億3,100万円の金額の表記に桁区切りのカンマを挿入いたします。

次に、「住民票の写しの交付等の各手数料を改正へ」の記事につきましては、見出しの末尾の「へ」の字を削ります。また、説明文の中で、4行目、印鑑登録証明書から段落を改行いた

します。また、その記事の右下に、窓口で対応している様子のイラストを加えたいと思っております。

次に、「公園施設使用料など決定へ」の記事になります。見出しの「などを」の「を」を挿入し、末尾の「へ」の字を削ります。また、この記事の右下に公園のイラストを加えます。

右側に移りまして、施政方針に対する各会派の代表質問の記事では、緑風会、内山議員の質問中、左側の2行目、「コミュニティー」の末尾の長音の伸ばす文字を1文字削ります。同じように、右側1行目の「コミュニティー」につきましても、同様に末尾の長音の文字を削ります。

一般質問の記事に移ります。「市政に対する一般質問」のタイトルの右側に日付が記載されておりますが、これらの日付は全て削除いたします。そして、このスペースに「一般質問とは」といたしまして、市議会のしおりに記載された説明を掲載させていただきたいと考えております。

各議員の質問の下の部分になります。わこうっちとさつきちゃんのいる議場の写真は削除し、「インターネットで会議録検索」の記事につきましても、後ほどごらんいただきます裏表紙のほうに移動した上で、このあいたスペースに、1月23日に開催いたしました議員研修会の記事を追加して掲載したいと考えております。

その下に移りまして、「常任委員会の審査」の記事の部分になります。

まず、総務環境常任委員会の問いのうち1行目、「納税証明」の「明」の字を挿入いたします。また、下の※の1行目、「平成30年度一般会計予算」を「手数料の見直しに伴う関係条例の整備」に差しかえます。同じく※の1行目、「11件の議案」の「件の」を削りまして、「議案」の後に「及び1件の陳情」と挿入いたします。※の2行目、「可決しました」を「可決し、陳情は不採択と決しました」に訂正いたします。

次に、右側の文教厚生常任委員会の記事になりますが、※の1行目、「18件」の「件」の字を削除いたします。また、このページの一番下の部分になりますが、「ご利用ください」と「広報わこう」の間にスペースを挿入したいと思います。

見開きのページについては以上です。

最後に、裏表紙について御説明いたします。

掲載内容を申し上げます。

「議案と陳情の採決結果」、その下には、左から「聴覚・視覚障がいのある皆さまへ」「インターネット議会録画中継」「6月定例会の開催予定」、その下に「編集」となります。

この紙面において、修正させていただきたいところを申し上げます。

まず、「議案と陳情の採決結果」の記事になります。タイトルの下、1行目、「平成29年12月」となっておりますので、こちらを「平成30年3月」に訂正いたします。

表の下に移りまして、「聴覚・視覚障がいのある皆さまへ」の記事と「インターネット議会録画中継」の記事のスペースをそれぞれ上に広げまして、「インターネット議会録画中継」の

記事の下に、前のページから「インターネットで会議録検索」という記事を移動して掲載したいと考えております。

全体を通して御協議のほどよろしく願いいたします。

○吉田けさみ委員長 事務局の説明が終了いたしました。

ただいまの説明に対して御意見ございますでしょうか。

吉田武司委員。

○吉田武司委員 表紙の部分なんですけれども、写真の1、2、3というところの番号が振ってあるんですけれども、歩みのところの番号を表示する意味だと思うんですけれども、3番のところであれば、議場コンサート、2番のところは子ども議会、1番のところも子ども議会とキャプションで入れたほうがわかりやすいと思います。それで、この番号を、歩みのところを番号を削除したほうが良いと思います。

○吉田けさみ委員長 このような意見がありますけれども、いかがでしょうか。

〔「いいと思います」という声あり〕

では、吉田武司委員の御意見を採用していただくということで、議会事務局のほうでよろしく願いいたします。

赤松祐造委員外議員。

○赤松祐造委員外議員 真ん中の写真が、知らない人が見たら何かわからないかな。現在のメンバーだから、僕らはもう知っているからね。自分の顔を探すだろうけれども、知らない人は、これは真ん中は何かなと。現議会の議員フルメンバーとかね、段の下あたりですか。

○吉田けさみ委員長 では、これについても文字を入れてもらうということでしたほうが良いですか。

赤松祐造委員外議員。

○赤松祐造委員外議員 いや、下に文字を入れてくれればね。

○吉田けさみ委員長 そのほうが良いということですね。

赤松祐造委員外議員。

○赤松祐造委員外議員 私たちはわかるけれども、大概の人はわからない。

○吉田けさみ委員長 例えばどんなふうに文字を、説明文を入れたらいいでしょうか。

赤松祐造委員外議員。

○赤松祐造委員外議員 現和光市議会議員メンバー全員が良いと思います。

○吉田けさみ委員長 ただいまの赤松委員外議員の御意見に対して、皆さんいかがですか。

〔「異議なし」という声あり〕

休憩します。（午後 1時45分 休憩）

再開します。（午後 1時47分 再開）

中央の写真については、「現職18名の議員」ということで文字を入れていただければと思います。

村田富士子副議長。

○村田富士子副議長 昭和45年定例会がやっぱりもう少し大きいほうがいいかなと。この右下の子ども議会ぐらいあってもいいのかなと思うんですけれども、歴史的にね。何か子ども議会のほうが目立っちゃって、何かこのぐらい、入れかえてもいいかななんて思うんですけれども。歴史を感じてその方がいいかなと思うので、いかがでしょうか。

○吉田けさみ委員長 村田副議長の意見に対して御意見ありますでしょうか。

赤松祐造委員外議員。

○赤松祐造委員外議員 その方がいいと思います。子ども議会は1つのイベントだからね、イベントをやりましたということだから、ある程度子ども議会をやったよというのがあればいいんであって、大きくする必要はないと思います。

○吉田けさみ委員長 菅原満委員外議員。

○菅原満委員外議員 大きく見やすくというのはわかるんですが、写真の粒子とか、割りつけの関係で、その辺どういうふうになるのかちょっと確認をさせていただければと思うんですが。

○吉田けさみ委員長 それでは、議会事務局のほうで保存されている写真、例えば昭和45年定例会という、多分モノクロ写真だと思うんですけれども、これを大きくしたときに、粒子が粗くなってわかりにくくなるとか、あるいは大丈夫なのかどうか、その辺はいかがでしょうか。

細野議事課長補佐。

○細野議事課長補佐 現時点でははっきりと申し上げられないんですが、フィルムのネガをスキャナーでとって、それをデータにしてモノクロの写真は使っているんです。この表紙の作り方が、イラストレーターやフォトショップではなくて、インデザインという業者にあるソフトを使ってやっているので、どうもこの写真の縦横は業者に頼んで当てはめてみないと、どうおさまるかがこちらだと今わからないんです。

今、試行錯誤で土台としてワードでつくったりもしているんですが、やはりワードどおりにはいつも仕上がってはこなくて、それぞれの顔を潰さないように業者の人も写真を配慮して配置してくれているので、こういう形で現在仕上がって来ています。

今伺った昭和53年の子ども議会と昭和45年の定例会の写真を入れかえるくらいであれば、可能ではないかなとは思いますが。

○吉田けさみ委員長 それでは、可能性ということですが、子ども議会と昭和45年の定例会の写真を入れかえてみてもらうということで、だめならこのままということになるんでしょうかね。

休憩します。(午後 1時51分 休憩)

再開します。(午後 2時00分 再開)

表表紙の写真挿入についてですけれども、皆さんの意見をまとめさせていただきます。

最近の子ども議会の写真、右下の写真を若干小さくする。それから、モノクロの①の子ども議会の写真のところに昭和45年の定例会の写真を持ってくる。ロングビュー市の視察の写真を

昭和45年の定例会のところに置くと。それで、バランスによってはモノクロの子ども議会の写真を入れていくという形でよろしいでしょうか。

〔「はい」という声あり〕

それでは、そのようにお願いいたします。

赤松祐造委員外議員。

○赤松祐造委員外議員 ちょっと質問なんですけれども、歩みのところの昭和53年の7月子ども議会開催とありますけれども、これは第1回開催ですか。

また、もう一つ、平成23年の子ども議会は、これは第2回なのか。2回だけやったということですか。

○吉田けさみ委員長 休憩します。（午後 2時02分 休憩）

再開します。（午後 2時05分 再開）

議会事務局のほうで、この点について御認識をお持ちでしたら伺いたいと思います。

議会事務局、伊藤次長。

○伊藤議会事務局次長 古い資料をもとに、こちらの議会の歩みのほうを作成させていただきましたが、この資料をもとに見ますと、第1回あるいは初めてとかというような書き方はなく、子ども議회를昭和53年に開催したという事実があったものですから、こちらの歩みの中には、昭和53年7月に子ども議会開催という事実のままを名称として載せております。

○吉田けさみ委員長 赤松祐造委員外議員。

○赤松祐造委員外議員 わかりました。

○吉田けさみ委員長 ほかに御意見ありませんか。

〔「なし」という声あり〕

ないようですので、それでは何点かの修正をお願いして、特定事件7、議会だよりの編集、作成については以上で終了いたします。

次に進みます。

特定事件8、その他議会運営に関することについてとして、基本条例の見直しについてです。

本日は、検討項目1、日曜議会の開催、検討項目2、インターネット録画中継の充実、検討項目3、プロジェクターを活用したわかりやすい議会運営について取りまとめたいと思います。

初めに、検討項目1、日曜議会の開催についてです。

前回の会議でおおむね出されました意見として、1点目が、傍聴者数の実績や経費の関係で見直しが必要。2点目が、日程的に日曜議会は大変である。3点目、市長選挙の後に1回開催してはどうか。4点目、インターネットの録画中継を充実し、日曜議회를なくすなどの意見がありました。

検討結果として、日曜議会は、おおむね皆さんの意見として中止することでまとめたいと思います。ただし、市長選挙の後で4年に1回の開催という意見もありますので、基本条例の前文には、また、議会及び議員は市長等との緊張関係を保持しながら、より開かれた議会を目指

す云々となっております。日曜議会の開催については、今後必要があれば機会を捉えて議論を
してもらおうということにしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」という声あり〕

次に、検討項目の2、インターネット録画中継の充実についてです。

これについては会派全体で同意されていますので、インターネットの録画中継を充実するこ
ととしたいと思いますが、いかがでしょうか。

〔「異議なし」という声あり〕

関連する意見として、ライブ中継について要望がありました。これに対しては、ストレート
に中継するのは訂正がきかないという課題があり、今後調査を行うのがよいのではないかとす
る意見がありました。

結果として、インターネットの録画中継を充実するとまとめたいと思います。よろしいでし
ょうか。

〔「異議なし」という声あり〕

次に、検討項目3、プロジェクターを活用したわかりやすい議会運営について。

意見として、1点目、設備等の関係で活用の仕方が難しいのではないかと。2点目、議員から
も資料の提出が可能となるが、本会議や委員会の記録として残らない。3点目、費用対効果も
考え、将来的な課題として考えていく。4点目、必要ないなどの意見がありました。

検討結果として、プロジェクターを活用したわかりやすい議会運営については、会議場や設
備等の関係で課題があり、行わないこととしたいと思いますが、いかがでしょうか。

〔「異議なし」という声あり〕

それでは、そのようにしたいと思います。

次に進みます。

前回の議運で、検討項目4、議員間討議について、提案会派、緑風会、新しい風からの提案
理由に対して、各会派で協議をいただいております。

それでは、各会派での検討結果の報告をお願いしたいと思います。

公明党、富澤啓二委員。

○富澤啓二委員 議員間討議の件ですが、重要なのは、執行部の質疑の後にしっかりと議員間
で討議することが大事であると思います。議論される議案にはメリットとデメリットが必ずあ
りますので、しっかり複眼的な視点で自由に議論し、合意をつくり出すということによろしい
のかなと思います。

○吉田けさみ委員長 日本維新の会、金井伸夫委員。

○金井伸夫委員 議員間討議については、特に制度化して議員間討議を行うということではな
く、第4条に出ているように、議員相互の自由な討議を充実させることということで、必要に
応じて議員間討議を行っていくと。結果的に議員間討議を行うというようなやり方でいいん
ではないかと思っています。

○猪原陽輔副委員長 議事を委員長と交代します。

日本共産党、吉田けさみ委員。

○吉田けさみ委員 議員間討議ということに対してなんですけれども、具体的にどんなところで議員間討議が行えるんだろうかと考えますと、例えば執行部からの提案に対して、ある議員はこういう考え方を持っている、それに対して、ある議員はまた違う考え方があるというようなことが、意見が対立するような、あるいは共通のものに認識を持っていくとか、そういうときに議員間討議というのはあり得るのかなと考えるんです。

ですから、委員会とかの場面での議員間討議というのは、やっぱりその委員会等に参加している議員、あるいは委員長なりが、議事の進行の持ちようで議員間討議というのが可能なのかなとは考えています。

それから、陳情とか請願等が出れば、これはそれぞれの考え方というのをしっかりと示していくし、結論を出さなければいけないということでは、この辺でも意見交換、あるいは議員間討議ができるかと思うんです。あとは、執行部の提案に対して議会として新たな政策を提案するとか、そういったところにも議員間討議というのはできるかと思うんですけれども、この間なかなかそういう場面に出会ってこなかったというのがあるかと思います。

ですから、これは今後も課題として、みんなで意識しながら議会活動に挑んでいくことが重要ではないかと考えています。

○吉田けさみ委員長 議事を副委員長と交代いたします。

赤松祐造委員外議員。

○赤松祐造委員外議員 第4条に書いているように、議員相互の自由な討議を充実させることというのは重要なことなので、やっぱり各派いろんな多様な考えがある、意見があるということを知るといことも大切なので、これはやっぱり進展、充実させることは賛成です。

ただ、どうやって議員間討議をしようとなれば、議長の判断なのか議運の委員長なのか、テーマを絞るとき、これをやろうという発起をどこでするのが問題だと思います。議員間討議しましょうという発起がね。各委員から出して、すぐ議員間討議ができればいいけれども、なかなかそこは難しいと思いますけれども。議員間討議には賛成です。

○吉田けさみ委員長 小嶋智子委員外議員。

○小嶋智子委員外議員 緑風会の提案説明の中にもございました先進地の視察とか勉強会を行っていくというこの点については、そういうことも行っていく必要があると思います。議員間討議について必要があれば、やはり行うことも考えていかなければいけないと思いますが、まずは視察や勉強会を充実させていくということは大変必要だと考えています。

○吉田けさみ委員長 菅原満委員外議員。

○菅原満委員外議員 議員間討議について、議員間でいろんな議論を進めていくということは必要だと考えます。この条例をつくったとき討議ということで定めたわけですが、議員間で討議なのか、協議して政策提案につなげていくのかということところを、もう一度和光市議会

として検討していく必要があるのかなど。

ほかの議会で、これより議員間討議を行いますというのを見てみると、全て見たわけじゃないですけども、中にはそれぞれの意見を討議、討論を何回かやるというような形で、政策をまとめていくという形でいくと、この討議という言葉、用語を使うことが適切なのかどうか、あるいは政策を執行部側なりに提言していくという形で、議員間で協議してまとめる方向でいくという形での議員間討議という形の位置づけにするのか、いま一度その辺を検討していく必要があるのかなど。単純に議員間討議が行われていないというような言い方では、削除というと、削除するだけならば簡単ですが、それでもいろいろ討議して決めないと、簡単に削除できるとは思わないんですけども、その辺をもう一度、他市の実情を踏まえて、他の議会の実情も踏まえて、和光市議会としてどうしていくのかというのを検討していく必要があるのかなどという立場です。

そういったことで陳情の取り扱いについて提案をさせていただいていますけれども、執行部側からの議案に対しても、議会としてどうあるのかということでも協議していくという形での討議ということの位置づけも含めて、検討していく必要があるのかなどと考えます。

○吉田けさみ委員長 それぞれ考え方というか提案に対する御意見が出されましたけれども、改めて提案者から御意見ありますでしょうか。

緑風会、吉田武司委員。

○吉田武司委員 今、いろいろな御意見があったんですけども、検討していくという意見が大半なのかなと思っています。

ただ、会派を組んでいるので、その中で議員間討議しても、やっぱり会派の中の意見があるのかなと思います。そんな中で議員間討議しても、やはり会派を組んでいると、いろんな活発な意見というか、それが半減しちゃうのかなと思いますので、議員間討議について菅原満委員外議員からもお話がありましたけれども、先進地の視察、またいろいろな検討をしていくのに対して、和光市議会としてどうしていくかということをも今後検討していくのがいいと思います。

○吉田けさみ委員長 新しい風、猪原陽輔委員。

○猪原陽輔委員 この第4条のところで、充実という部分でちょっと引がかかったということで提案説明の中で申し上げましたが、今の御意見で皆さん充実させていくという意思是共通していると思いますので、それについては充実という方向で進んでいくのはいいかと思います。

ただ、日本共産党、吉田けさみ委員もおっしゃったとおり、現状でも委員会によって、やろうと思えば議員間討議できる場面は想定できるかもしれないが、そういう場面が今までなかったということで、要するにどういう場面、どういうときに必要なのかという知識とかノウハウというのをこの和光市議会では持っていませんので、先ほど皆さんもおっしゃっているとおり、やはりそれは先進地の視察であるとか勉強とかを通して、どういう場面で必要なのかというのを議員全体で意識の統一というのを図っていかないと、なかなか難しいのかなと思いますので、そういった機会をふやすということで今後いいのではないかと思います。

○吉田けさみ委員長 菅原満委員外議員。

○菅原満委員外議員 今、新しい風から、和光市議会として知識、ノウハウを持ち合わせていないというような御指摘があったんですけれども、この議会基本条例をつくる時に相当な議論を行って現在に来ているので、新しい風も当時会派があってその議論に加わってきたので、そういったことも会派の中で当時のいきさつとかも含めて認識を共有しておいていただかないと、それがあって、じゃ、議員間討議どうしよう、外部からも指摘があって、いろんな形、委員会での陳情を捉えてのそれぞれの意見を出し合って、いろいろ討議してというようなことも含めて、和光市議会としてどうしていくんだというような積み重ねで来て現在があるので、その辺、会派として、従来からの積み重ねてきた議論というのもしっかりと認識を持っていただかないと、和光市議会が何もないと断じられちゃうと、今までの議論を積み上げてきたものが悲しい結果になってしまうので、その辺は認識をもう一度持っていただければと思うので、よろしく願いいたします。

○吉田けさみ委員長 新しい風、猪原陽輔委員。

○猪原陽輔委員 今おっしゃった今までの経緯を踏まえた上での意見というか、経緯を知らないでというお話はわかったんですが、果たしてここに参加されている方が全員それを認識しているかどうかという話で、全体として意識がとれていないというのは、やはり全員がそれをまだ意識統一できていないというところはあると思いますので、菅原満委員外議員のおっしゃることもわかるんですが、やはりもう一度これについて、今までの経緯も含めて勉強も必要ではないかと思います。

○吉田けさみ委員長 休憩します。（午後 2時23分 休憩）
再開します。（午後 2時27分 再開）

次に進みます。

検討項目5、議員の資質向上について、提案会派からの提案理由に対して各会派での協議をいただいております。提案者は、公明党と日本共産党です。

それでは、各会派での検討結果をお願いいたします。

緑風会、吉田武司委員。

○吉田武司委員 議員の資質の向上についてなんですけれども、議員1人1人が責務と役割を自覚し、政策立案能力を高めていくことが大切ですので、今後、議員間討議とあわせて、先進地の視察や勉強会などを検討していくことがいいと思っています。

○吉田けさみ委員長 新しい風、猪原陽輔委員。

○猪原陽輔委員 この議員の資質向上ということは賛成で、先ほど吉田武司委員もおっしゃられたことと同じことになると思うんですけれども、研修の機会とか、現在も行っているわけですけれども、さらに充実できればいいのかなと思っています。

例えば、お金をかけない研修ということで現在行っておりますが、執行部の皆様のお時間を頂戴するのも大変申しわけないんですが、もう少し、機会をふやさせていただくということも

1つあるのではないかなど。例えば広沢の複合施設の問題とかは、議会で取り上げるときも勉強させていただいたんですが、いろいろ専門用語とか多くて理解しづらい部分も多少ありましたので、直接勉強の機会とかあれば、さらに議論が深まるのではないかなど思いましたので、そういう大きなトピックスがあるときはお願いして、研修していただくという機会があってもいいのではないかなど思います。

○吉田けさみ委員長 日本維新の会、金井伸夫委員。

○金井伸夫委員 これは議員の個々の資質の向上だと思うんですけども、これは自主的にみずから資質の向上を図るということで、これは理想というか目的みたいなものなので、自主的に個人で資質を磨いていくということではないかと思えます。

○吉田けさみ委員長 菅原満委員外議員。

○菅原満委員外議員 資質のあり方ということで、個々の議員それぞれがふだんからそれは自覚されてやっていることだと思いますが、それを目に見える形にしていくとなると、先ほどもあったような議員間の討議、協議をして政策提言につなげていくという。その中でいろんな調査をしたり、それを持ち寄って、またお互い認識や知識を共有し、さらにまた高めていくというようなことを通じて資質を高めていく。そういった意味では、資質の向上に当たってはどのようなやり方があるのか。先ほどもあったように、ほかの議会の事例も参考にしつつ、和光市議会としてどうしたらいいかということも検討していくことが必要なのかなど。

そういった中で、議案とかが出ていて、議案の調査抜きで賛成、反対がひっくり返ったりするような事例があったり、あるいは委員会での採決が個人で、簡単に本会議でひっくり返っちゃうような、そういうようなあり方が果たしてあっていいのかどうか。これは議会の審査のあり方に対する信頼というか、執行部側も見ていますので、そういったようなことも含めてきちんと個人が自覚してやっていく必要があるのかなど。

だから、そういった意味でいくと、議会のあり方にもつながっていくのかなというような気がいたしますので、先ほども吉田武司委員、あるいはほかの委員からもあったように、調査も含めて個人個人の自覚も含めて高めていけるような形で、資質の向上にもつながっていくことが必要なかなど考えております。そういった形でこの場で協議してまとまっていけばいいのかなど思えます。

○吉田けさみ委員長 小嶋智子委員外議員。

○小嶋智子委員外議員 私も、この議員の資質向上は大変重要で、必要であると考えております。やはり個人個人それぞれで資質の向上に努めていくということももちろんですけども、やはり和光市議会全体として勉強をする、それから研修会の機会をふやすという今までありましたお話、こういったことにも許されるのであれば積極的に取り組んでいきたいと思えます。

また、こういう意識の共有というのも、市議会全体で一度共有する場というのを持つのもあれば、資質向上に向けて少し前へ進めることにもつながるのかなということも考えました。

○吉田けさみ委員長 赤松祐造委員外議員。

○赤松祐造委員外議員 私も、やっぱりこの議員の資質向上というのは大切なことで、やはり個々に勉強することも必要。それと、研修へ行って帰った後、皆さんといろんな討議をして資質を上げる。皆さんがおっしゃったことを、一つ一つやっぱり実行をしていきたいと思っています。

○吉田けさみ委員長 公明党、富澤啓二委員。

○富澤啓二委員 皆さんの意見が集約されたのがこの現行基本条例に入っていると思います。市民の意見を的確に把握し、自己の能力を高める不断の研さん、また市政全体の福祉の向上をしっかりと期すると。これは本当に大事なことであって、大きく見れば、市政全体を見据え広い視点、長期的展望を持つて的確な判断を行って、みずからの資質の向上を図るため不断の研さんに努めることが大事であるということは、この現行条例に全て集約されると思いますので、しっかりと自己研さんを深めるべきだと思います。

○猪原陽輔副委員長 議事を委員長と交代します。

日本共産党、吉田けさみ委員。

○吉田けさみ委員 それぞれの会派の皆さんから、資質向上についてということで御意見がありました。やっぱり基本的には、議会にかかわる私たち議員としての専門職でもあるかと思うんですよ。だから、そういう部分では、執行部が出してくる情報をみんなで共有するということは当然のことですけれども、それに対してどのように向き合っていくとか、そういうことというのは、本当に個々の力量というか、そういうものにも関係してくると思うんです。

ですから、議員として議会運営にかかわる、あるいは議会の一員として何を身につけていかなければいけないかということ、やっぱり1人1人が自覚していく必要があると思うんですよ。

とりあえず、私が初めて議員になったときには、議会での発言の仕方とか会派のあり方とかそういうようなものを、市議会議長会とかで出している専門書を開いて、議会の運営についてどのように臨めばいいかとかいうのをまず勉強したというような記憶があるんです。それとあわせて、研修の回数もこの間やはり随分ふやしてきていると思うんです。

先ほど猪原委員のほうからもありましたように、新しい事業が展開されるときには、中身についてどんなものだろうかということを通認識として知っていくとか、いろいろやり方はあると思うんですけれども、今本当に目まぐるしく市政運営も大きく変わってきていますから、議員がいろんな知識を持ちながら臨んでいくための研修とか、あるいは積極的に専門書を読むとか、そういった努力も求められるのかなと思いますので、それとあわせて、図書館の充実なども含めて大事なのかなとは思っています。

○吉田けさみ委員長 議事を副委員長と交代いたします。

議員の資質向上について各会派から意見が出ましたので、もう一度持ち帰っていただいて、次回まとめていきたいと思っています。

次に、検討項目6、議会報告会のあり方についてです。

休憩します。（午後 2時38分 休憩）

再開します。（午後 2時43分 再開）

提案は、緑風会、日本共産党、希望の3会派から提案されていますので、最初に緑風会から説明をお願いいたします。

緑風会、吉田武司委員。

○吉田武司委員 議会報告会は、まず、市民に対して市政や議会活動を報告する広報機能、2つ目として、市民から質問、意見や要望を聞く広聴機能の2つをすることが大切だと思っています。

現在、和光市議会では、報告会、予算の報告、予算審査の報告、また決算審査の報告の後に、1時間程度テーマを設けて市民と議会との意見交換会を行っています。今後もこのやり方で進めていく方がいいのかなと思って、何かのときにはまた見直して検討していくということと、開催の回数や報告会のあり方なども検討していければと思って、現状では今の方向でいいと思っています。

○猪原陽輔副委員長 議事を委員長と交代します。

日本共産党、吉田けさみ委員。

○吉田けさみ委員 議会報告会における時間配分を市民との意見交換会に重点化した点というのは、改善の一つとも見ていいのかなと思っています。議会に対する関心を高めるということにもこれにつながってきたのではないかとということと、あわせて、この3年間、議会報告会をやってくる中で、その都度、要領を見直ししながら、時間配分とか、それから、個人に呼びかける報告会のあり方から団体活動をテーマにした意見交換会のあり方と変化もさせてきていますし、そのときの状況に合わせて要領改訂をしながらやっていますので、これからについても、その時々開催内容、テーマ等を考え、時間配分等も考えながら適宜やっていけばいいのかなというのが提案の理由です。

○吉田けさみ委員長 議事を副委員長と交代いたします。

希望、菅原満委員外議員。

○菅原満委員外議員 ほぼ同様の内容なんですけれども、基本的には議会報告会のあり方について、やりながら見直しをして、ある程度現在の意見交換会を主としたやり方に落ち着いてきたということで、当面はこのやり方を継承しつつ、来年度以降また新たな改選された方々がどう考えるかは別ですけれども、こういう方式を踏まえて、なおかつ要領に基づいて開催ということで、適宜必要性があれば見直しを図れるというような形にもなっておりますので、現状やりながら、その時点においてまた新たなやり方等を検討したらいいと、あるいは変えたほうがいいということが出てくれば変えるということで、現状のやり方を基本を踏まえつつ進めていくということでもいいのかなと考えておりますので、そういう方向でいかがですかということでございます。

○吉田けさみ委員長 それぞれ各会派から提案説明が行われました。

次に移ります。

検討項目7、陳情の取り扱いについて、提案会派であります希望、菅原満委員外議員、お願いいたします。

希望、菅原満委員外議員。

○菅原満委員外議員 これも先ほどの議員間討議と関連するわけですがけれども、現在、陳情については、最終的には請願等、議案等と同じで、本会議で採択、不採択ということになるということですがけれども、市民からの提案ということ踏まえると、議員間でその提案内容について協議をして、委員会でまとめれば、まとめた内容を政策提案していく、あるいは次の段階につなげていくと。まとまらなければ、まとまらなかったという形で、それぞれまとまったもの、あるいはまとまらない内容について本会議で報告するという形で、採択、不採択という形式によらず取り扱いを検討していったらどうかということで、それによって議員間討議、協議、あるいは議員の調査とかそういったいろんなことにもつながるとのことなので、そういった形でいかがでしょうかということで提案をさせていただいた次第です。

○吉田けさみ委員長 提案について、解釈も含めてですがけれども、もし、質問があれば質問していただければと思います。

緑風会、吉田武司委員。

○吉田武司委員 採択、不採択にかかわらずということなんですけれども、その点で、採択、不採択にかかわらず、陳情をどう取り扱っていくかということでよろしいんですか。

○吉田けさみ委員長 菅原満委員外議員。

○菅原満委員外議員 説明がちょっとうまくできなくて申しわけありませんでした。

ほかの議会では、陳情については受け付けて配付のみというようなところもあるわけですがけれども、政策提案として受けとめて採択、不採択をするということではなくて、その提案内容について陳情された方から御意見を伺い、なおかつ該当する委員会でその内容について協議をして、委員会としてまとめれば、陳情された方の趣旨を踏まえた形での政策提言をする。あるいは、国等に対して意見書として出す必要があれば、委員会でまとめた内容で提出をしていくという形をとると。まとまらなくても、委員会としてこういう協議を行い、こういうふうな形で委員会としては審査しました、ただ、委員会としてはまとまりませんでしたので報告いたしますという形で報告をすると。まとまらない場合でも、一部分だけでもまとめたいというふうな形で委員会や議員間で協議が進めば、新たな政策提案として、議員の政策提案としてつなげていくという形をとればいいのかということでございます。

要は採択、不採択にかかわらず、採択する、採決に付すということではなくて、検討していくものとして提案として受けとめて、議会として検討していく、協議していくという形がとればということでもあります。

今現在だと、最終的には可決か否決、採択か不採択、採択されれば意見書につながるとかという形ですがけれども、そうではなくて、政策提案として受けとめて議会として取り組めればと

いうことです。誤解を与えて大変失礼をいたしました。

〔「休憩してもらっていいですか」という声あり〕

○吉田けさみ委員長 休憩します。（午後 2時53分 休憩）

再開します。（午後 2時57分 再開）

〔「すみません。じゃ、さっきので補足だけ」という声あり〕

菅原満委員外議員。

○菅原満委員外議員 先ほどの提案の中で、陳情の取り扱いを変えらるとなると、会議規則の見直しとか付随して見直さなければいけないものも出るのでは、検討する項目は多くなるということだけ補足させて説明させていただきます。

○吉田けさみ委員長 それでは、検討項目6と7については、一度各会派に持ち帰り、次回の議運までに協議をお願いいたします。

次に進みます。

議会報告会についてです。

お手元に、既に確定済みの開催要領と意見交換会の割り振りが配られております。また、本日、資料案、次第案、アンケート案、用語解説案が配られています。

資料案、次第案、アンケート案、用語解説案の内容について、各委員の意見を伺いたいと思います。

休憩します。（午後 2時58分 休憩）

再開します。（午後 3時06分 再開）

提出した資料なんですが、資料案、次第案、アンケート案、用語解説案の内容について、各委員の皆さん、これでよろしいでしょうか。

〔「異議なし」という声あり〕

それでは、事務局におかれましては、そのようにお願いいたします。準備のほうをよろしくお願いいたします。

集合時間ですけれども、前回同様12時半でよろしいでしょうか。

〔「異議なし」という声あり〕

それでは、全員協議会室に12時半集合とさせていただきます。

次に進みます。

平成30年度議員研修会についてです。

今年度の研修会のテーマ等を各会派で御協議いただき、御提案がございましたら、5月10日までに提案書を事務局に御提出願います。

以上で本日の議事は終了しました。

今後の日程を確認いたします。

次回の議運は、5月29日火曜日9時半から、内容は、特定事件1、次の議会の会期予定についてとして、平成30年和光市議会6月定例会の会期日程等について、特定事件8、その他議会

運営に関することについてとして、基本条例に基づく見直し、平成30年度議員研修会、議会報告会の反省についてです。日程調整のほど、よろしくお願いいたします。

菅原満委員外議員。

○菅原満委員外議員 3月定例会におきまして、委員会での賛否の態度表明と本会議での賛否の態度表明が、異なる態度表明をされた議員がいらっしやいまして、委員会のときには何ら討論はなかったと記憶しております。そういったことでいくと、賛否に対する態度表明の信頼性、審査をしてきた結果の問題、それから、分割付託して審査を細かく慎重に行ってきたということに対してのあり方についても問題が出てくるのかなと思います。

この点について、本来的に議員の資質ということで先ほども議会改革の中であったんですけども、このあり方について、きちんと議運として、議会運営のあり方として御検討をいただければと思います。賛否の態度表明が簡単になってしまうということになると、何のための審査だったのか、あるいは何のための態度表明だったのかなということにもつながりかねないと思いますので、よろしくお願いいたします。

○吉田けさみ委員長 休憩します。（午後 3時09分 休憩）

再開します。（午後 3時16分 再開）

先ほど、菅原満委員外議員から発言がありましたように、この件についてはとりあえず会派に持ち帰っていただいて、こういう意見がありますということをお皆さんに伝えていただきたいと思っております。その後、改めてこの件について協議をする場、認識を一致させる場が必要であれば、それを設けていきたいと思っておりますけれども、これでよろしいですか。

〔「はい」「お願いします」という声あり〕

それでは、そのようにいたします。

○猪原陽輔副委員長 議事を委員長と交代します。

日本共産党、吉田けさみ委員。

○吉田けさみ委員 実は、これは議会外活動なので、どうなのかなと思うんですけども、個人的には金井委員のチラシを読ませていただいて、党派、日本維新の会を離脱したというような形で議会報告のチラシを配られているということで、それについては、チラシを配ると同時に議会事務局のほうにお知らせしていく必要性というのは、認識あったんですかね。それとも、議会事務局のほうには知らせなくても、市民に知らせておけばいいんだというような認識だったんでしょうか。

○猪原陽輔副委員長 日本維新の会、金井伸夫委員。

○金井伸夫委員 議会事務局から連絡があったので、議会事務局に届けました。

○猪原陽輔副委員長 日本共産党、吉田けさみ委員。

○吉田けさみ委員 議長、この辺についてはどう考えますか。

○猪原陽輔副委員長 齊藤秀雄議長。

○齊藤秀雄議長 基本的には、前者の話でいけば何のトラブルもなかったというのが私の認識

です。やはり議会人としてどこに籍を置いているか、市民の立場目線とはまるきり別の立場ですよ、私たちは。ですから、今回の議運にしても、会派から始まって意見が述べられるということであって、立場が1人会派だろうと、緑風会、公明党、どこであろうと必ず所属しているわけですから、その届け出がベースとなって、初めて意見を述べるというような考え方が基本だと私は思います。自分と市民が知っていればいいやという、そういう発想はあってはならないと私は思います。

○猪原陽輔副委員長 日本維新の会、金井伸夫委員。

○金井伸夫委員 和光市議会では会派として変わらないので、特に必要ないかなと思っていました。

○猪原陽輔副委員長 日本共産党、吉田けさみ委員。

○吉田けさみ委員 それ以上はいいです。

○吉田けさみ委員長 議事を副委員長と交代いたします。

この件についてなんですけれども、やはり変更があったら速やかに議会事務局のほうに届けるということをみんなでやっていく必要があるかと思っておりますので、委員長の立場でも意見を私は言わせていただきたいと思います。よろしく願いいたします。

ほかに何かございますか。

〔「なし」という声あり〕

なければ、本日の記録及び公開資料等については、委員長に一任願います。

以上で議会運営委員会を閉会といたします。

午後 3時20分 閉会

和光市議会委員会条例第30条第1項の規定により、ここに署名する。

委 員 長 吉 田 け さ み